日刊（除月曜） 昭和21年6月1日（第3種郵便物認可） 昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238號 いわき民報 夕刊 昭和25年4月26日（水曜日） 第1208號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

二百万圓長者の決定日！
宝くじ
＝お早くお求め下さい＝
抽せん 4月28日（金）
於 福島市兒童會館
日本勸業銀行

水筒持參で登校

悲慘な平二中の現狀

平市第二中學校（生徒數八百六十名）は鎌田山の新校舍に去る五日から移轉し授業を始したが肝心の校舍建築狀況はまだ七分通りでガラス窓、便所、水道などは工事の半開ばにあり雨の日は敎室は窓ガラスがないため雨が吹込みまた女子便所も出來上らないためムシロを下げておりこのため女子生徒はこの使用を嫌つて附近の農家にわざわざ便所借りに行くほか水道が出ないため全生徒は水筒持參で登校、掃除の用水もないので子供たちは谷間の小川からわざわざ水汲みに通うと云う悲慘な有樣にある

早く完成して欲しい

學校側談

右について學校側では語る

三月一杯で出來るわけだつたが遲れている、學校としては新築早々でもあり少し位の不便は忍ぶことは當然と考えているが然し雨の吹込む敎室と水のない學校は早く解消させたい女子便所位は一刻も早く完成して貰いたいものだと思つております

今月一杯の辛棒 土木課談

これについて市土木課では次の如く語つている

今月一杯の辛棒を願いたい建具は揃つたが何れも規格外のものだつたので今取替をやつているので一週間後には出來上る、水道も井戸と水槽もほぼ出來上つたので二週間位で鐵管も出來上る、便所も目下扉をとりつけ中だ、遲れた理由は業者の手違だつた

千七百町歩の牧野

卅七カ所開放の決定

石城地方事務所では昨年末から一月にかけて國有牧野開放豫定地（平營林署管内千七百町歩、植田營林署管内二千町歩）三千七百町歩に亘る實地調さを行つたが、二十七日午前九時から平營林署に全署管内分千七百町歩の開放地決定を行うが當日決定を豫想される該當地は三阪、川前、永戸小川、大野等三十七カ所で全豫定地の約九割とみられている、全開放は昨年七月二十一日現在において使用中のものと限定されているため管内では豫定地の約七割しか認定の對照となつていないが、地方事務所でも出來得る限り範圍を廣め該當地の九割までは牧野として決定したいものと語つている

ソ連引揚者

三名歸郷

明優丸のソ連引揚郷土出身者左記三名は二十四日午後五時三十三分平着の指定列車で無事歸郷した、なお平澤松男（平市梅が町）遠藤賢吉（川前）の兩氏は引揚業務の都合で遲れ二十六日歸郷の豫定である、二十四日の歸郷者左の通り

櫛田文男（勿來）古市清（好間）佐藤幸雄（內郷）

身体障害者を援護せよ

福祉法實施週間に協力要望

石城地方事務所では二十四日十時から會議室に社會主任會議を開き一日から施行された身体障害者福祉法について全法の運用準備の打合せを行うと共に、二十四日から日赤及び鐵道弘濟會福島支部主催で實施される全法施行記念週間に呼應して各町村毎に週間行事を定めてこれを實施することとなつた、全法は身体障害者を援護して自力更生させることが目的で廣く一般人の理解と協力が必要である、實施事項は、宣傳啓蒙、ポスター、リーフレットの配布、立看板揭示身体障害者の手帳申請手續、全障害者の實態調査、巡回開眼檢診の實施等でこの他慰安行事なども豫定されている

平市の身体障害者は視力障害四十七名、聽力障害二十一名、言語障害十三名、し体不自由四十二名、中樞神經機能障害二十三名の計百四十六名という多數である

なお巡回開眼檢診は來月一日來平の豫定

主のない遺骨三柱

三カ月目に漸く判明

感謝された大垣驛長さん

平驛では昨年の暮下り列車内に主のない遺骨三柱を發見大垣驛長以下が線香などあげて佛をとむらい落し主を搜していたが風呂敷包の記名から三カ月目で富山縣高岡市平町阿久津豐さんのものと判り送り屆けた處全氏の兄弟の遺骨だつたことが全氏の禮狀によつて判明骨を折つた甲斐があつたと全驛長らを喜ばせている

禮狀の內容は十二年振りで遺骨が生家に歸り母と共に合掌した、平驛長及高岡驛長の御恩は生涯忘れないとあり文面から推察する處阿久津氏母子は東京で長い間苦勞している間に三名の兄弟を失い昨年末郷里に引き上げる時上野驛で北陸線に乘るべき處を間違えて常磐線列車に乘り込み間違いと知つてあわてて乘り換えた際失つたものらしい、大垣驛長は驛につとめて三十年にもなるがこんな事は始めてであると語つている

淺沼書記長

勿來で講演

社會黨書記長淺沼稻次郎氏は二十四日午後四時勿來町大日本勿來炭鑛に來訪、午後五時半から勿來會館で『アメリカの政治視察から歸つて』と題し講演、同夜勿來に一泊、二十五日朝八時で歸京した、なお同行として參議院田中利勝氏總同盟造船連合會主事古賀專氏らも來訪した

管間委員長

判事に返咲

廿七日後任選擧

平市選擧管理委員會は二十七日午後一時より開き委員長管間正英氏が茨城縣水戸地裁龍ヵ崎支部の判事に返り咲くのでこれに伴う後任委員長選擧と委員一名の補充を行う

二中PTA

役員決る

平第二中學校では神谷村からの依託生三百余名を合併後初のPTA總會を二十日開催、會員四百余名が參集して會則豫算の審議、本年度學校經營方針の討議等あつて後役員の改選に移り會長に木村亨氏（平）を再選副會長片寄明男（神谷）大平直躬（平）幹事鈴木新平（神谷）橋源二郎（平）の諸氏を選任同校發展向上に力強い第一歩を踏み出した

參加十八チーム

興味ある小名濱町民野球

既報＝優勝旗爭奪小名濱春の町民野球大會は廿九、卅日五月三日の三日間小、中兩校グランドで開催されるが參加チームは藥會A、B、竹町ヤンキーズ、七十七銀行、シルバー、光、エンゼルス、松の中公試會、中學校、シルバーOB、日冷、新光、高友、スワローズ、大洋、日昌製作の十八で早くも榮冠目ざして猛練習を展開しているが、優勝候補の呼聲高いチームは藥會A竹町、シルバーOB、新光等で何れに凱歌擧がるか興味をそそつている

會と催し

いわき生物同好會主催生物採集會は廿九日石森山で開くが八時平驛前集合（雨天のとき翌日）出發する、專門指導者も參加するので同好者多數の參會を期待している

× × ×

第七回亞人會展は廿八日から三十日まで三日間マルトモホールで開く、出品はデッサンクレパス、水彩、日本畫、油繪約四十點

× × ×

磐崎村消防團春季檢閲は二十四日午前九時から磐崎中學校校庭に於て行われた

猫自殺未遂

飯野村南白土字北澤二五無職佐川秀治郎（五八）さんは二十四日午後七時四十五分ころ平市松ヵ岡公園地內高台の池附近で猫イラズを飲み自殺を計つたが一命をとりとめた、原因は家庭の不和

三名を毆る

平市長橋町古物商金本鐘源（二三）は去る十五日午後十時頃平市松ヵ岡公園で好間村上好間燃料工業所現場主任大和田忠雄さん（三一）に女のことから因緣をつけ毆打、全治一週間の傷害を加えたほか、仲裁に入つた平市南町木型製作所の中本勝市さん（二八）ほか一名に竹棒や小刀をもつて全治一週間の傷害を與えたことが判り二十三日送檢

店舗を破壞

暴れトラック

二十五日朝九時ころ好間村上好間學校前不二屋洋品店舗（富田滑吉氏）內に古河好間炭鑛の六輪車トラック＝運轉手武井常吉（三八）＝がつつ込み柱ケース等を破壞した

跳梁する泥棒

◇二十二日午後九時半ころ平市大工町洋服商永島道雄さんは平窪曲出から才槌小路までトラックにのせてくれと賴まれた二人連れを乘せて來たところトラックに置いた二本の雨傘七百円相當をぬすまれた

◇三阪村中三阪字四座敎員大野正（四八）さんは十九日午後七時半ころ上衣ポケットに入れてあつた現金五百五十円請求書等を緻からの下り列車內ですられた

◇二十六日午前十一時半ころ好間村大字川中子字關ノ上三〇好間第一小學校長櫛田瀧藏（四六）さんは平第一小學校玄關內に置いた中古自轉車七千円相當を盜まれ平市署に屆出た

△內郷町宮無職河邊キヨノさん（三六）は二十三日午前十時頃綴驛で五百円をスラれた

△二十四日夜內郷町字小島字花輪農鈴木吉之助さん方では土藏を合鍵で開けられ衣類四十點二万円相當を盜まれた

△東京都豐島區高田南町純正社社員應岡信雄さんは廿五日午前四時頃下り二一一列車內で日立－平間に赤革手さげカバン（小切手八萬円在中）をスラれた

原案を可決

定例市會

平市會は二十四日午後一時半より開き二十五年度追加更正豫算案ほか七件を附議、阿部助役から提案理由の説明を行つて質問に入り柴田議員より失業應急事業の內容、永野議員から敎育費の施設費の使途について、石山議員市營アパートに管理者を置く場合住居人の選擧によつて選べ、酒井議員飯野を編入し地域も大きくなつたのだから警察の豫算を殖しこれが万全を期せとそれぞれ發言あり鈴木市長から善處する旨の答辯あつて委員會に附託、一日休議、本會議を再會して各委員長の報告通り原案を可決し午後四時閉會

中野浩忠翁

頌徳碑除幕式

神谷村、中野浩忠翁の頌徳碑除幕式は二十五日午前十一時から鈴木市長、箱崎地方事務所長ら來賓百三十名出席、同村鹽熊野神社境內で盛大に擧行したが鈴木市長は會津喜多方事件の眞相に就き講演した

町村長大會受賞者

縣下町村長大會は二十五日午前十時から白河市第一小學校講堂で開き優良町村自治功勞者が表彰されたが石城町村長會では左記十三名が表彰された

◇全國町村會表彰（自治功勞者）永山亮太郎（飯野）

內山吉五郎（湯本）久保木政直（夏井）松崎珍平（赤井）大河原茂平（好間）森永太郎（全）四家重雄（鹿島）渡部惣江（內郷）

◇縣町村會表彰（優良町村吏員）山崎千朝（內郷）渡部惣江（內郷）村上保一郎（小名濱）桶井清水（三阪）宮澤勝敏（四倉）

湯本町會

廿八日開く

湯本町々會は來る二十八日午前九時から役場會議室に開き湯本町國民健康保險公營移管國民健康保險組合財產調、同償權償務調の報告の後、本年度事業計畫、條例制定、會計設定、歲入歲出豫算を審議する

湯本中の清掃運動

湯本中學校では十七日から二十三日の一週間に亘り生徒を動員し校內校外の清掃美化作業を行い町民に喜ばれた

顯微鏡を寄贈

松本氏の美擧

平市二丁目常盤屋時計店松本孝太郎氏は二十五日朝理科實驗用にと顯微鏡一台を第一小學校に寄贈した

天氣予報

二十五日

【今晩】東よりの風、曇勝ちの天氣一時雨

【明日】北よりの風、曇勝ちで午後より次第に晴、海上やや波立つ

移轉のお知らせ！
一層のお引立をお願い申上げます
新店舗 平市三丁目二二番地
（三井百貨店前）電810 912
4月24日移轉
皆樣の 富士銀行平支店

平市公會堂
笑いと唄の豪華實演
5月5日 ヒルヨル
落語界のNOI
三遊亭歌笑
司會と腹話術（林二三夫）漫才（壽美子染一）奇術（松旭齊小菊）漫才（千代子天山）捨勝）
コロンビヤ專屬
柴田つる子
と
コロンビヤ樂團
【前賣中100圓】
主催 平商業高等學校商友會

店舗（事務所）住宅 倉庫
土地付 至急賣リタシ
（姓名在社）

歐洲映畫名畫祭
前賣券只今發賣中

2日	キヤラバン
3日	逢びき
4日	カルメン
5日	しのび泣き
6日	悲戀
7・8日	ハムレツト

3回券 稅共 100圓
一般入場料 1回40円
主催 內郷映畫同人
會場 第二イワキ

和菓子
洋菓子
詰合せ折箱御注文に應じます
☆女店員募集
高女卒本人履歷書持參
平市 藤越菓子部

お座敷女中さん入用
住込のこと
委細面談
平市新田町
電二九二番
赤垣

讓住宅
八疊一、六疊一、四疊半一、二疊一、玄關湯殿台所付
長島菊苗
平市小太郎町電話一一五〇番

外科
外科一般
整形外科 泌尿器科
皮膚科 放射線科
松村亨
松村医院外科
平市南町三二（電一〇七番）

水産版

植田町漁業協組では三十日午後一時より通常總會を開き役員の改選を行う

北海道の小手繰網 希望六十七隻

底曳漁業者 一齊に申請

北海道では小手繰網漁業（小型底曳）の整理を行うことになりこれに伴う代船約百隻を内地（神奈川、新潟以北）から求めることになつたが本縣でも無許可底曳船の整備轉換と關連してこれに應ずることになり縣水産事務所では縣下の希望調査を行つていたがこの程六十七隻が纏つたので水産廳を通じ北海道側へ申請した

この内譯は小名濱三十六隻、江名二十二隻、中村五隻、四倉三隻、勿來一隻でうち無許可船が約半分以上含まれている、これらの船は北海道側業者と賣買、貸與、共同經營等の形で操業することになるが本縣業者の大半は共同經營の形で進出したい意向をもつている

縣水産事務所の話によるとこれらの申請者は何れも現地側業者と直接交渉によつて決ることになる模樣で無許可船整理對策の一環として今後これが促進についても縣は努力することになつている

契約書の原案作成

旋網北海道入會の船主會

縣旋網漁業協組では鯖旋網北海道入會について二十日午後一時より小名濱町の同事務所に船主會を開き北海道に出漁する件について協議した結果現地業者から乘出資金として一統當り二百万円を出資して貰うことをあくまで期待し北海道側の業者との間に次の共同經營契約書を結ぶことに原案を作成、これを承認したが若しこの乘出資金が出なければ出漁船は少なくなり十統程度にとどまるのではないかと見ている、なお同組合の話ではその後入つた情報によると入漁を申請した本縣の旋網三十統は何れも許可がおりたと云う

共同經營 契約書

（北海道側業者を甲とし本縣業者を乙とする）

△第一條甲は乙に對し出漁準備を完了する爲これが準備金として金貳百万円を前渡する△第二條この漁業經營の管理は主として乙が行うものとし乙一カ月の操業費を金壹百貳拾五万円也とする、但し乙船籍地出港より乙船籍地歸還迄を操業期間とする、△第三條水揚手取金より二七%を漁夫配當支給金とする、△第四條前二條に依り支出したる殘額を甲四〇%乙六〇%の比率により分配する△第五條漁獲代金受領の際は甲乙協議して受領するものとする、△第六條漁獲物處理に際し價格その他甚だしく不利の場合は甲乙協議の上船積みその他の方法により乙の指定する地方に輸送し處理する事を認める、但しこの場合豫め船積地に於て甲乙協議により價格を決定するものとする（以下省略）

一度に五万貫は樂

鰹鮪組合で冷凍工場經營

縣鰹鮪漁業協組では江名町岸浦にある日本漁業江名冷凍工場を千五百萬円で讓渡を受け先月から組合直營の工場として發足した、同工場は冷凍機械一台を据付け五万七千貫の鮮魚を冷凍保管することが出來るわけで今後は假に一万貫積んだ漁船だと五隻分以上の漁獲物をそのままそつくり保存出來ることになり自由販賣時代を迎えて大きな役割を果すものと期待されている、なお利用者は組合員に限らず一般業者にも解放している

どこへ行く 水産製品檢査所？

今度の縣會に提出する縣水産製品檢査條例をめぐり江名燒竹輪、同練製品、同加工業、中の作水産加工、四倉水産加工、同煉製品、小名濱煉製品各協同組合及び縣旋網協組加工部の八團體ではこれが檢査規定の撤廢陳情書を連名で縣並に全縣議へ發送、また一方の縣水産製品檢査所でもこれが檢査の必要性を强調する說明書を關係者に發送、俄然四月定例縣會を前にして同條例を中心に活潑な動きを示した、双方の主張する意見は次の通り

撤廢理由

側業者の主張

△需給關係円滑を缺く時代は優良品と不良品の區別なく公定價格を以て販賣されたため稍々もすれば業者中には不正品を生產し利潤追及に走る傾向があり故に製品の向上と消費者擁護のため嚴格の檢査を必要としたが現在は業者の自覺と統制撤廢の爲全然反對の傾向に變遷し同時に不良品は檢査の有無に不拘消費側においては現品の實質に相當する價格でなければ相手にしないばかりか却て不當に踏み倒す事實さえある、△前記の事由からして生產者は如何にして優良品を生產し市場にて商品の價値と商標の信用を高めようかと努力して居るのであつて今後は檢査が商品價値を高めるのでなく優等品自体がその價値を高めるようになつた△榮々檢査は製品の向上を期する一手段であり、前述の如く他力本願的檢査解消後は自己の利害と信用の點にて良心的向上を圖る時機に達して居りまた或場合には業者自体の團結力に依つて互に相戒むる心構と其の實現を圖る手段の必要は考えて居る、△從來の檢査方式で徒らに手數を煩わしその効果は無意味に歸するのみならず出荷等に時機を逸し却而商品價値を失う結果となる、△檢査手數料は全く高額であつてこの最終負擔者は消費者であり經濟界不況の現今消費者負擔を多少でも輕減して生活面の緩和を圖ることを考えても檢査即ち檢査料は解消すべきである

存置理由

所主張 檢査の

△檢査はほぼ各都道府縣共統制以前の昭和十二年より實施しているもので、統制とは關係なく自然發生的に品質向上商取引の円滑化をめざし發足していたものであること、△各都道府縣の條例制定（北海道鹿島島根はすでに制定）についてはほぼ確定的であり本縣のみ條例制定しなければ他都府縣に移出するとき當然無檢査品として取扱を受けるため本縣關係業者に不利不便となる、△統制中は丸公に利用され且つ、少數の檢査員に對し余分に負荷された行政的出荷業務に厄されて檢査道本來の任務である檢査を通じての水産加工指導員的眞姿を顯現できなかつたが、統制撤廢された現在新体勢に對處して該方面の科學的設備を着々整備し檢査員の素質向上對策と相俟つて檢査所の本然の姿を展開し得ることとなつた、△農林物資規格法による日本農林規格を設定豫想される主要水產製品の等級格付は縣營檢査所のみ實施できる、△將來倉荷證劵による金融の道が開かれた場合、水產物の如き取引單位の大きいものについて公平で適正な檢さを行い品位を均一化し、品質を保證する必要があるがその檢さはより公正な立場から實行できる縣營檢さ所によらねばならない、△輸出水產物の檢さは、農林省輸出食料品檢さ所が所營して居るものであるが、生產者自らが、その指示された規格に合致せしめて製造すると共に等級格付するもので、該檢さ所は只その結果について點檢する程度であるから（輸出港にて實施）生產地に於て各梱包毎に嚴重檢さを要する

小名濱煉製組解散

小名濱水産煉製品加工業協同組合（組合長小野盈氏）では二十日午後一時より臨時總會を開き經營困難に陷つた業界の現狀から同組合を解散することに決定した、これにより同町には縣旋網漁協組加工部を除いては加工業協同組合はなくなつたわけ、なお江名町中の作水産加工業協同組合（組合長竹永豐氏）でも解散している

宮城との協定

本縣側の草案成る

底曳

縣では宮城縣との間に底曳入會協定を結んだが目下これが協定文の起案中であるがこの『機船底曳網漁業操業區域擴張に關する覺書』の草案は次の通り

△入漁隻數－農林大臣より許可を受けた宮城、福島の機船底曳網漁業船とする△入會期日及び期間－昭和二十五年四月十一日以降とする△入漁條件－禁止區域を嚴守すること、資源涸渇防止のため及び繁殖保護のため出來得る限り網目二寸以上のものを使用するよう指導協力すること、漁業者の利益になることについては兩縣協議の上決定すること

二十二日レセプション みやけ小名濱入港

鹽釜海上保安本部配屬の巡視船みやけ（四百三十トン船長伊地知千達氏）は二十二日純白の船体を小名濱港に現わし午後二時から小名濱町並に海上保安協會縣支部の共催で同船上にレセプションを開いた、參集者は海事及び防犯關係者約四十名、先ず水野町長の開會の辭あつて間庭※鹽釜海上保安本部長挨拶、保安協會三代縣支部長の發聲で万才を三唱、戰後日本の最優秀巡視船である同船を見學、磯の香りもなま暖かい春風にふかれながら和やかなうちに會を閉じた

新築促進委員つくる

水試無線局近く敷地決定

小名濱町縣水試無線局の新築問題は縣豫算二百四十万円、地元負擔八十五万円も一應決つたので敷地を物色中だつたが大字古港字播摩の作台地（三代義勝氏宅裏山）に敷地百坪を候補地に決め地主と援衝を始めた、また同局舍の新築を促進するため小名濱、江名、四倉、久之濱の各業者代表からなる新築促進委員會（委員長比佐政種氏）を結成した、このまゝ豫定通り進めば六月中旬までには完成しカツオ最盛期までには新局舍からの通信が間に合う豫定

小名濱町に鮮魚商組合

下旬ごろ結成

小名濱小野利一氏ら二十名が發起人となり今月下旬ごろ小名濱鮮魚商組合を結成する、これは十年ぶりの復活で組合員は同町の鮮魚仲買人百二十名の豫定

航路擴張

豐間の修築工事

豐間港の二十五年修築工事計畫は豫算二百五十万円を以つて防波堤二十米の建設と狹い港口の航路擴張を行うことに決つた

縣連合會長改選

黑川氏ら辭任

漁業協組縣連合會では二十八日正午から平市縣水産事務所に臨時總會を開き會長黑川喜一郎（江名）幹事坂本義信氏（江名）の辭任に伴う補缺選擧を行うことになつた

24年度漁獲調査

水試で各濱に依頼

縣水産試驗場では二十四年度各種漁業の漁獲水揚高を把握し縣水産業の實體を知るため縣下の各漁業協組に調査用紙を送つて統計資料を集めることになり、この程依頼した、特にイワシの漁獲量については終戰直後の昭和二十年度に逆上つて調査することになつている

マイワシ漁獲調査には力瘤を入れ流網、地曳、揚繰、定置についてそれ〴〵出漁統數、漁獲量を記し平年漁況との比較をつけるよう依頼、またカタクチ、ウルメイワシ、シラス、サバ、ブリ、アジについても數量、漁具名などを調査するがこの結果得難い資料が出來るものとして期待されている

生イワシ 身欠ニシン

平に續々入荷

▽…平市の魚市場へ三四日前から身缺ニシンが四百貫入荷し市民の食膳を賑わせている、これは今年の初もので貫當り卸三百円、小賣三百五十円程度、賣行は金詰りとあつて余り芳しくないと業者は云つているが今後も續々入荷する見込み

▽…二十六日ごろ平市にマイワシ（大羽）が入荷する、これは石川縣で獲れたものを鮮度の落ないうちに貨車で直送して來るもので數量は三千貫だが同地からの入荷は例年よりは一カ月早い、値段は入荷して見なければ判らないと業者は云つているが生の大羽イワシが店頭に出るのはここ數年ぶりなので賣行は良いだろうと胸算用中

組合長再選

（その一）久之濱漁業協組では十九日通常總會を開き役員選擧を行つたところ組合長高木好之助氏が再選された（その二）中村漁業協組（原釜港）の通常總會は廿日開き役員改選を行つた結果、組合長菊地要畜郎氏が再選された

今週の潮

	滿潮	干潮
廿五日	六、四〇分	一五、四五分
廿六日	〇、三五分 七、〇五分	三、五五分 一七、三五分
廿七日	一、一五分 一二、四五分	七、四五分 一九、〇五分
廿八日	一、四〇分 一三、〇五分	七、五五分 一九、五五分
廿九日	二、一〇分 一四、〇五分	八、三五分 二〇、四五分
三十日	二、三五分 一五、〇五分	九、〇五分 二一、四〇分

下ル値段、上ル品質

お待ち兼の政府放出 純綿メリヤス

（點數不用）　入荷大賣出し

純綿大人ランニングシヤツ	67円
純綿 〃	80円
純綿大人半袖シヤツ	90円
純綿大人半袖ポロシヤツ	130円
純綿 〃	164円
純綿子供ポロシヤツ	82円

其他

毎日一度は3丁目の大黑屋へ

【診療科目】
整形外科
外科

竹林整形外科醫院
竹林眞吉
平市紺屋町一六　電話一二八九番

衛生陶器…洗面器は東洋陶器
タイル、モザイク…ヒビの入らぬ伊奈製品
陶管…二寸より各寸豊富
便器…青色三五〇圓より

久
武田陶器店
平市一丁目電三一九番

おできくさ、胎毒
ヒフ病退治藥種々
手當法養生法親切丁寧にお話します
遠くからワザ〳〵來られた方々の感謝狀澤山 愉快です
藥のことなら勉强している
ダルマ藥局
小名濱町本町電一三三番